

広報



かわにし

昭和58年 3/10 No.295

(毎月10日発行)

人口の動き

— 3月1日現在 —

男 4,928 (-1)

女 5,028 (+3)

計 9,956 (+2)

世帯数 2,346 (+2)

() 前月比較

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎02576-8-3111)

発行 町長 根津正三 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



千手小学校で雪像大会が行われました。これは、児童会のレクリエーション委員会が主催したものです。大会は三月一日でしたが、五日ほど前から作り始めたクラスもあったようです。雪像はクラスごとの制作です。で、十四組にもなりました。ペンギン、ET、武蔵対小次郎、肉丸、イノシシなどがグラウンドいっぱいにはびきました。みんなが力を合わせ、苦心して作り上げた作品だけに、審査のほうもたいへんでした。写真はクジラを制作中の二年二組です。シッポ作りが案外難しかったとのこと。

3月の休日救急医

13日	富田	医院	(神明町)
20日	大島	医院	(川原町)
21日	山口	医院	(下条)
27日	中条	病院	(中条)

4月上旬の予定

3日	千手	診療所	
10日	水沢	診療所	(土市)

議会 報告

第一回町議会定例会が、三月四日から二十四日までの二十一日間の会期で開かれていました。

新年度予算案は、七日に提案され、審議が進められているところです。採決は二十二、四の両日に行われる予定です。

今回は予算案についてのみ掲載させていただきます。

新年度予算案を審議中

議会で審議中の新年度予算案を別表にまとめてみました。

昭和五十八年度の一一般会計予算案は、二十六億九千八百万円です。

これは、前年度当初予算より百万円多いのですが、伸び率にすると〇・〇四パーセントでしかありません。

予算編成に当たっては、厳しい財政環境にあることから、経常経費の節減はもとより、財政運営全般の見直しを行い、限られた財源を効率的に運用できるように配慮しました。

新年度は、橘小学校の改築（五十九年度継続）、地域休養施設建設（前年度からの継続）、農村総合整備モデル事業と町道整備の推進などが計画されています。

特別会計のほうは、六つの予算案を合わせると十億八千万円余

りになります。老人保健特別会計は四億四千万円です。

58年度各会計予算案 (単位：千円)

区 分	58年度予算	57年度当初	比較率
一 一般会計	2,698,000	2,697,000	100.0
特 別 会 計			
農業共済	90,541	91,465	99.0
簡易水道	53,700	53,300	100.8
国民健康保険	430,302	479,825	89.7
老人保健	401,075	(32,403)	(1,237.8)
国保診療所	85,787	78,461	109.3
仙田へき診	20,534	20,347	100.9
歯科診療所	廃止	58,610	増減
計	1,081,939	(32,403) 782,008	(1,237.8) 138.4
合 計	3,779,939	(32,403) 3,479,008	(1,237.8) 108.6

※老人保健の57年度(32,403)は、年度途中で新設されましたので数値は外書きにしました。

主な事業

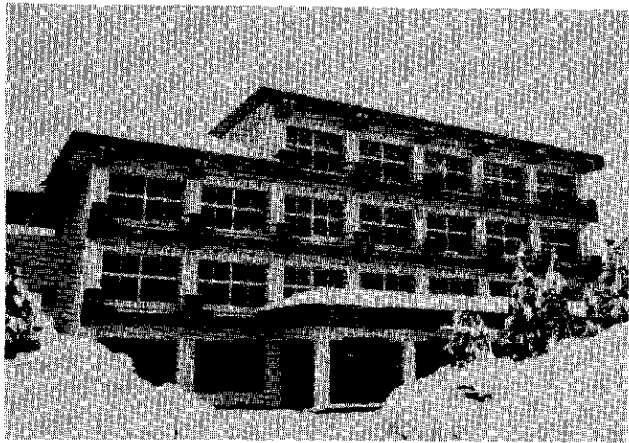
一般会計予算案の中から
(単位：千円)

- 〔総務費〕 ▶新潟県議会議員一般選挙費2,918 ▶参議院議員通常選挙費3,677 ▶町長選挙費1,602
- 〔民生費〕 ▶社会福祉法人あかね会補助金3,900 ▶川西町社会福祉協議会補助金3,330 ▶県障医療費扶助4,141 ▶国民年金印紙購買基金繰出金9,000 ▶魚沼学園負担金3,304 ▶児童手当18,456
- 〔衛生費〕 ▶衛生施設組合負担金49,186 ▶水道企業会計補助金40,000 ▶老人保健特別会計繰出金20,242 ▶簡易水道会計繰出金26,000 ▶各種検診委託料6,991
- 〔農林水産業費〕 ▶農道維持管理委託料5,000 ▶沖立農道舗装事業負担金5,800 ▶共同利用施設整備事業補助金6,690 ▶水田利用再編対策費22,925 ▶農業構造改善費17,299 ▶農村総合整備事業費144,106 ▶地域休養施設費108,150 ▶地域休養施設運営費15,206 ▶林道開設費24,953 ▶造林事業費72,604

議会の日程

3月4日	条例改正等、五十七年度補正予算
7日	五十八年度予算町長提案理由の説明
9日	担当課長予算説明
10日	町長に対する総括質疑
11日	建設委員会
15日	総文委員会
16日	産業委員会
17日	五十八年度予算質疑・討論・採決、五十七年度補正予算

- 〔商工費〕 ▶商工業振興費32,315 ▶観光費7,184
- 〔土木費〕 ▶国県道工事負担金17,000 ▶道路維持費14,669 ▶道路新設改良費111,205 ▶特四工事費11,160 ▶道路除雪費99,804 ▶河川改修費15,000
- 〔消防費〕 ▶広域消防負担金91,182
- 〔教育費〕 ▶住宅購入費18,650 ▶国庫負担教材3,972 ▶橘小学校建設費167,410 ▶スクールバス委託料6,760
- 〔災害復旧費〕 ▶農地農業用施設災害復旧費11,972 ▶公共土木施設災害復旧費20,360
- 〔公債費〕 ▶償還元金207,651 ▶同、利子174,161
- 〔諸支出金〕 ▶中子用地購入費95,000
- ◆特別職報酬・給料・手当等(701人) 71,226
- ◆一般職給料・手当等(180人) 654,005



川西中学校の 改築工事が完成

建設費は

三億三百万円余り

五十七年度事業の目玉、川西中学校木造校舎改築工事が終わりました。

鉄筋コンクリート造四階建、延面積は千七百平方メートル余りです。一階はホール、二階は校長室、職員室、三階は家庭科室、視聴覚室、四階には図書室などがあります。

建設費は三億三百万円ほどです。

建築検査も済み、二月二十五日には校長室や職員室などの引っ越しが行われました。

明るい校舎に、生徒たちの顔もほころんでいました。



みんながうれしそう

ねんきん

保険料が上がります

四月から五千八百三十円

この四月から定額保険料が、いままでの一月五千二百二十円から五千八百三十円に改められます。「また上がるのか……」と思われるでしょうが、これは将来の年金額の充実や受給者数の増加による給付費の増加などを考慮したうえでの必要措置なのです。

現在、制度の財政は、受給者の皆さんがこれまでに納めてきた保険料と、現在働いて若い世代の人たちが負担する保険料によって賄われていますが、ご承知のようにわが国は、年を追うごとに老人が増えていく傾向にあります。

これは、加入者に比べて受給者が増えていき、それに伴って給付費もどんどん増えていくことを意味しています。これから円滑に年金が支払われるためには給付費の確保——とりわけ保険料額の引き上げが不可欠な要件となつてきます。

しかし、給付費が不足だからといって受給者本位で保険料額を引き上げた場合、加入者の皆さんにいままで以上の負担増を強いることになり、ひいては

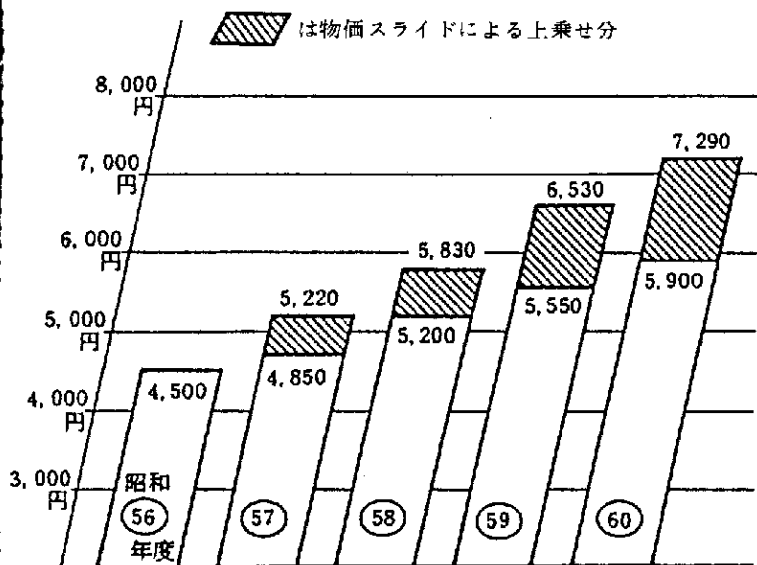
「年金制度自体の崩壊」をも招くことにもなりかねません。

そこで、国では昭和五十五年に行われた財政再計算により、五十六年度の保険料を四千五百円とし、以後毎年、急激な負担を避けた段階的な引き上げにより、円滑な年金財政を図ろうとしています。(別表参照)

加入者の皆さんのご理解とご

協力による保険料負担で、給付と負担とのバランスが保たれれば、国民年金制度の維持発展はもとより、現在マスコミをにぎわしている「年金財政の破綻」もありません。

現在の受給者はもちろんのことですが、将来の受給者である私たちや後世の人たちが十分な給付を受けられるような財政基盤の確立のためにも、保険料額の引き上げに対し、加入者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



ふくし



川西町地域休養施設名称 入選発表

秀作 松葉荘

高木美津子 十日町市神明町
高松久子 千葉県市川市
上村節子 川西町上野
宮 肇 川西町山野田
日黒太一郎 川西町東善寺
丸山宗太郎 川西町下原
小林伝司 川西町中屋敷
田中与三郎 川西町山野田
平野角太郎 川西町四郎兼
小林立雄 川西町中仙田
上村信子 川西町上野
登坂和子 川西町岩瀬
田村弓子 川西町上野
川崎孝一 川西町寺尾
丸山惣吉 川西町根深
清水芳雄 川西町下平新田
根津迪子 川西町上野
清水芳雄 川西町下平新田

佳作 まつば荘

ニュー松葉荘
サンライフ川西
山百合荘

川西グリーンパーク

工事が進む「松葉荘」(2/28)

川西町地域休養施設は、国道252号線越ヶ沢トンネル東口に、七月のオープンを目ざして着々と建設作業が進められています。町では、この施設の名称を「親しみやすく現代にマッチしたもの」ということで公募しました。県外の方からも応募いただき、百二十九人の方から三百五十三点(応募種類は二百十八種)も

の作品が寄せられました。二月二十四日に役場で地域休養施設運営委員会が開かれました。会議の主題は施設の名称選考でした。応募作品がたいへん多かった中で、二十二人の委員から予備投票という形で秀作一点、次席二点をそれぞれ選んでいただき、その中から決めることにしました。

予備投票によって候補に選ばれた作品は、「松葉荘」「川西松葉荘」「まつば荘」「ニュー松葉荘」「川西山荘」「川西休養センター」「松葉沢荘」「松葉楽園センター」「憩いの殿堂川西荘」「サンライフ川西」「コミュニティ川西会館」「レストパーク川西」「川西農村休養施設」「川西グリーンパーク」「山百合荘」の十五点です。慎重審議の結果、秀作には「松葉荘」が選ばれました。松葉荘の名づけ親はなんと九人もおいでです。入選者は別表のとおりです。近日中に記念品をお贈りします。

地域休養施設に

「松葉荘」と命名

町史コーナー

ある老主事の回想

町史の編さんに携わってきたひとりの老主事が、本欄のこの執筆を最後に町の職員を勇退する。彼は今、大過なく勤め得た歳月を顧みて無量の感慨にひたっている。その彼のために、この貴重な紙面をお借りし、歴史の一コマともいえる三十四年六か月の回想にふれる勝手をお許しただきたい。

職業軍人と見なされ、GHQ(連合軍総司令部)の手で教壇を追われていた彼が、ときの助役に請われて役場の書記になったのは、戦後の混乱と主食の運配、欠配がまだ尾を引く昭和二十三年の秋であった。およそ、役場の事務には不似合いで無能な彼が、昔は判任官とまでいわれた村の役人に迎えられるカゲには次のエピソードがある。

彼の村では、役場職員の任用は、村長が書記全員の意向を聞いて人物本位に決めることが慣例になっていた。彼の場合も職員の会議にかけられたが、野におくとなにかと目ざわりなうえ、村会議員であった彼の父が職員給与の引き上げにたえず反対していたことから、能力はさておき、彼が採用される結果になったと村の衆はうわさした。

改めて、役場の門をくぐるころになって、一つのうしろめたい気持ちで彼の頭の中をよぎった。それは、ついこの春、役場のテエ(職員)が賃上げ要求のストライキをした際に、「とんでもない」と苦言を呈したことに対する後悔であった。

村中に迷惑が及んだこのストライキで、職員の言い分は「昔のように名誉職的な職員ではないはず、ゆえに、村はオレたちが生活していけるだけの給料を支払え」というものであった。

役場へ用足しに行っても、「キヨはストだすけダメだぜ」の一点張り、全員がふてくされて暮や将棋をしたり、裏山にムシロを敷いて寝ころんだりしていて話にならなかった、その行動を批判したのである。

ヒニクなことに、こうした発言が奇縁ともなあって彼は役場に入り、そのうえ、先輩たちが團結して一千八百円ベースのカベ

十日町地域広域事務組合の財政事情

昭和57年12月31日現在

昭和57年度各会計予算執行状況

(単位：万円)

会計区分	項目	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計		62,462	46,215	73.0	46,822	74.0
総合福祉センター計		1,978	2,080	105.2	843	42.6
と畜場事業特別会計		3,526	3,207	91.0	1,785	50.6
合 計		67,966	51,502	75.8	49,450	72.8

昭和57年度市町村別負担金状況

(単位：万円)

市町村	一般会計	総合福祉センター特別会計	と畜場事業特別会計	合 計	構成比
十日町市	29,509	151	627	30,287	48.6
川西町	9,379	92	129	9,600	15.4
津南町	13,481	1,346	220	15,047	24.2
中里村	7,141	103	75	7,319	11.8
合 計	59,510	1,692	1,051	62,253	100.0

総合福祉センター・と畜場利用状況

(単位：万円)

(57.4.1～57.12.31)

	十日町市	川西町	津南町	中里村	その他	合 計
福祉センター	344	81	7,912	253	99	8,689
と畜場	3,095	1,358	3,456	329	817	9,055

火災・水害・救急車等出動状況

(単位：万円)

(57.4.1～57.12.31)

	十日町市	川西町	津南町	中里村	合 計
火災水害等	35	4	18	3	60
救急車出動	557	114	185	67	923
計	592	118	203	70	983

税の申告お済みですか

期限は三月十五日

昭和五十七年分の所得税、贈与税の申告と納税の期限は三月十五日ですが、もうお済みでしょうか。まだの方は、一日も早く申告を済ませてください。

申告をしなければならぬ人が申告を忘れていたり、正しくない申告をすると、後で不足の税金を納めるだけでなく、加算税なども納めなければなりません。正しい申告と納税をお願いします。

また、町民税の申告も三月十五日が期限です。今年の一月一日



申告相談はお気軽に

所得税の確定申告をする人以外の方は、役場に申告書を提出してく

現在川西町に住んでいて、前年中に所得があった人で、

だいたい。ただし、給与所得だけで、給与支払報告書が勤め先から役場へ届けられている方は、申告の必要がありません。

県議選 投票日は4月10日の予定

新潟県議会議員一般選挙は、3月29日に告示、4月10日が投票日の予定です。

を破ってくれたおかげで、「月額二千四百円を給する」の辞令を手にすることができた。この年は、トウド（日雇い）の日料がカキバナシ（手飯）で一日百二十円の協定であったが、この額で来てくれる人はほとんどなく、うわのせに二十円に食事付きというヤミの日料が相場になっていった。したがって、月給をそっくり農作業に当てたとしても、十人とおちよとのトウドしか頼めなかった。米一俵の値段が四で一千四百八十七円、ヤミ米を買うと一か月分が消えた。宮仕えをいとい、安い給料にあまじでいけない先輩、同僚は、役場の勤めをいともアッサリと離れて、自分の能力や本領を発揮できる職業へと転身して行った。彼も、警察予備隊の幹部要員や、教職追放解除後の学校復帰などに誘われた。そのどれもが役場よりはるかに高収入であったが、いままら転職して挙家難村する気にもなれず、せっせと役場へ通い続けた。

満八年を勤めたころの給料が九千七百円、新しい町になって一万円を少し超えたが、この金は、消費者米価でやっ和二俵半の米しか買えない額であった。本庁へ通うようになって、旧町村ごとに有能な職員が大ぜいいることを知り、負けてはいられない。ないと、生活や地域の課題を解決する学習活動に駆け回った。彼は、役場に入ってから自分の性格が少しずつ変わっていく。事実に気がついていった。今までは、だれにも気がねなく振舞うことができたのに、公僕となってそれのできない身の不自由を嘆きながら、この辛抱が給料をもらうための代償なのだ納得し、いつしか「まじめ人間」と評されるようになって無意のよわいを重ねたのである。

辞めようかと思索したり、それをしないでよかったと思える因果関係もいくつか指摘できるが、総じて、石の上にも三年的な感覚で勤めた過去に悔いはなかった。しかし、これといった実績がなにもひとつ浮かんでこないだけに、自分にはたして、村や町のためにどれだけの仕事をしたのだろうかという疑問が残る。何十年、町から給金をもらって生きた男の証は、終の住処で貴重な経験を生かし、町の進歩に心おきなく注目していく余生にあるのだろうか。

退職を二十日後にひかえた彼は、多くの先輩たちがそうであったように、長い間温かくご支援くださった町の皆様に感謝しながら、遠い日、盆や正月を待ちわびた子ども心で別れの日を指折り数えている。

転作目標面積は

一〇九・七ヘクタール

配分会議で対策を協議

先月二十一日に、昭和五十七年度転作事例発表会と五十八年度転作等面積配分会議が総合センターで行われました。出席者は農政推進協議会委員、嘱託員、生産組合の方々、それに関係機関の方々など約百二十人でした。

転作物優良事例発表では、東山農家組合の平野由隆さんが大豆について、上野生産組合の入沢茂さんがなすについて、木落生産組合の田口直人さんがしろうりについて、それぞれ栽培事例や問題点を発表しました。

続いて、転作等面積の配分、転作の推進方針などを協議しました。川西町の五十八年度転作等目標面積は、一〇九・七ヘクタール、転作率では九・八パーセントです。

配分会議の様様



部落ぐるみで

取り組みを

水田利用再編対策は、農家の皆さん、それに関係機関のご理解とご協力により推進されています。川西町の転作等実施状況は、過

作

第2期対策中の基本面積と昭和58年度転作等目標面積

	基本面積	昭和58年度 特別緩和措置面積	昭和58年度 転作等目標面積	転作率
	ha	ha	ha	%
全国	677,000	77,000	600,000	21.0
新潟県	25,030	3,880	21,150	12.4
川西町	129.8	20.1	109.7	9.8

去五か年とも目標を上回る達成率を示しています。

昭和五十八年度は、第二期対策の最終年度です。国は、三年続きの不作により若干の緩和をしますが、需給事情は依然として米が余る傾向にあり、厳しい状況は変わっていません。

このような状況の中で、収益性の高い転作を定着させ、農業経営の安定を図るため、町では「部落ぐるみの集団転作の推進」を基本に取り組んでいます。明るい川西町の農業を築くため、ご協力をお願いします。

(町史コーナー前ページから)

資料提供者(敬称略)

金子誠平(岩瀬)、茂野寅一(藤沢)、羽鳥仁平(伊友)、星名四郎(上野)、滋野定良(野口)

主な提供資料(一)(内西暦)

御仕置御裁許御定書(一八八六)(二)、御料書五人組前書、庭訓往来、町村合併資料(一九〇一)、普請研究、戦後の給与等一覽

・こぼれ話第三集の訂正

町史こぼれ話第三集の中に、次の誤りと誤解しやすい表現がありました。おわびして訂正します。

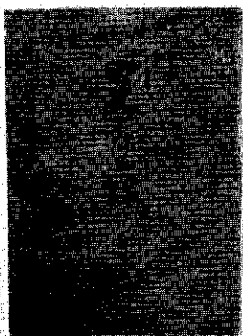
百十一ページ終わりから二行目の「翌月」は「翌日」が正しい。

百十四ページ始めから五行目

町史コーナー

第三集ご希望の方へ

町史こぼれ話第三集ご希望の方は、歴史民俗資料館、役場、総合センターへご連絡ください。



の「この日」は、閏四月二十八日ではなくて四月二十八日を指す。(本紙五十六年一月号の本欄も同様)

・旧暦の平年と閏(うるう)年

明治五年まで用いた暦は、月が地球を一周する期間を一月としたもので、大の月を三十日、小の月を二十九日として誤差を修正した。しかし、これでは太陽の運行と合わず、季節もずれるので、十九年間に七回の閏月を置いて調節し、その年は十三か月になった。

慶応四年(明治元年)も閏年で四月二十九日の翌日が閏四月一日になった。参考までに記すと、薩軍方歩兵組が上野、租師下平新田の村々に宿陣した四月二十八日は現在の五月二十日に、征討軍の大部隊が千手駅に到達した閏四月二十三日は六月十三日に当たる。

川西町の

配分方法

部落転作等目標面積の配分方法は次のとおりです。

- ①基礎面積 五十七年度農業共済細目書面積を基に異動調査をし、部落から報告のあった面積を基礎として、東部地区は部落別畦畔面積を引いた面積とします。
- ②未達成面積 五十七年度未達成部落は、当該面積を加算します。
- ③実績控除 五十五年度限りで奨励補助金の対象外となった植林、養魚池については、その面積の二分の一相当面積を控除します。
- ④特別緩和措置 五十八年度限りの特別緩和措置面積の軽減は町内一律とします。
- ⑤その他 公平の確保のため所要の調整を行います。

転作達成率

五十七年度は 〇三・八%

五十七年度の転作達成率は、一〇三・八パーセントでした。

県からの配分面積百二十三ヘクタールに対して、実施面積は百二十七・七ヘクタール、実施農家は九百三十一戸となっています。ご協力ありがとうございました。

転

第二期対策の推進方針

しろうり・なすが

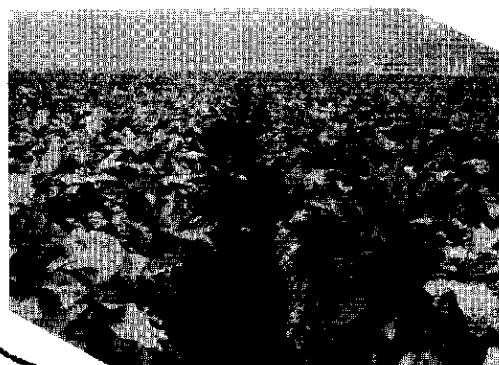
町の振興作物です

◎基本方針

部落ぐるみの集団転作と定着化を推進して地域農業の再編成と生産性向上を図ることを基本としています。

◎具体的な推進方向

農家の皆さんと関係機関が密接な連携を図り、集団転作と定着化の実施上の課題点を的確に把握し、対策を確立していきます。



転作なす（沖立）

(1)計画転作地区の拡大と団地化の促進

計画転作は生産組合等が中心になって集団的に実施するよう指導します。転作の定着性の高い連担団地化を進め、農地流動化などにより転作条件を整備し、転作中核集団を育てていきます。

(2)転作定着化の推進

集団転作の実施は、部落全体の問題です。農家間の話し合いを進めていただき、関係機関の指導のもとに、具体的な目標を掲げる必要があります。

転作の定着化を図り、経営的に成立させるため、①集団転作田のほ場の選定と排水対策等営農条件の総合的な整備が必要となります。

②転作田の団地化を図るため、農用地利用増進事業による貸貸借、交換耕作等を促進する必要があります。

団地化加算金制度の対象となるよう可能な限り連担団地化するよう推進します。

地域の特性を生かして、町特産

物の生産振興と新規作物の開発、導入を推進します。

(3)生産、流通対策の充実による収益性の向上

転作物の生産性向上に必要な営農条件を整備するとともに、転作による生産物の販売については、農協などと十分協議を重ね、計画生産、計画出荷を推進し、有利販売により収益性の向上に努めます。

◎重点作物

○大豆（エンレイ）

○飼料作物（供給に結びつくもの）

○加工用野菜（しろうり、なす）

特に加工用野菜については、町の振興作物として、転作による栽培面積の拡大を図ります。

転作奨励補助金の内訳

(単位 10 〆 当たり：円)

種 類	作物名	基本額	加 算 額		
			計画加算	団地化加算	地域振興作物加算
特定作物 永年性作物	大豆、そば、麦、飼料作物、果樹（ぶどう除く）	49,000	6,500	10,000	—
一般作物	たばこ、加工用青大豆以外の大豆類、養魚池、水田用魚、林地、など	34,000	5,000	7,500	—
野 菜	この地域で栽培できる、れんこん、くわいを含む	29,000	5,000	7,500	—
加工用野菜	加工用のなす、しろうりに限るしろうりは()内	29,000	5,000	7,500	5,000 (3,000) バラ転作の場合も

※管理転作、土地改良事業の通年施行は、基本額の34,000円のみです。



中村先生と研究グループの7人

県教育長努力賞を受賞

「クロサンショウウオ」の観察で

白倉小科学研究グループ

新潟県教育委員会が主催した、第十八回新潟県児童生徒科学研究発表会で、白倉小学校の科学研究グループが、新潟県教育長努力賞を受賞しました。

研究題目は「クロサンショウウオの発見と飼育観察」です。六年の桐生華子さん、江口智子さん、高橋美香さん、高橋千津子さん、五年の田中幹夫君、片桐ルミ子さん、中村香織さんの七人が中村正先生の指導を受け、共同研究をしたものです。

クロサンショウウオは、もともととその発見や飼育が難しいとされていますが、それを成功させ、そ

こうほう びば

雪解けが早まり、気分もなんとなくウキウキしてきますが、交通事故やなだれ、火災などに遭わないよう、起こさないよう、気を引き締めることがたいせつです。

今月は、白倉小学校から届けられた、うれしい受賞の便り二題を中心に掲げてみました。

火災が多発!!

ちよつとした気の緩みが元
十日町市、中魚沼郡内で、今年に入ってからすでに九件の火災が発生しました。十日町市三件、川西町二件、津南町三件、中里村一件です。このうち全焼が二件あります。これは過去に例を見ない発生状況です。いずれもちよつとした気の緩み、不注意から発生しています。

毎日の生活の中、気構え一つで

ほとんどの火災は防げます。

もう一度わが家の防災について考えてみましょう。

「火の用心 心で用心 目で用心」
(十日町消防署 川西分遣所から)

お庚申さまの本は

いかがですか

千手庚申供養講では「昭和年代

の上、二年にわたって生態、習性などをつぶさに観察したことが評価されての、うれしい受賞です。研究結果は、図表などを用い、わかりやすくまとめてあります。その中からところどころを抜き書きにしてみました。

研究結果の中から

① 研究の動機

毎年四月はじめになると、田や池のたまり水にアケビの形をした白い卵が産みつけられています。そばにいりもがいたので、今までイモリの卵かと思っていました。昭和五十六年の五月に、先生が「これはクロサンショウウオの卵らしいよ」と教えてくれました。今までクロサンショウウオを見たことも聞いたこともなかったので、卵を持ち帰って育てました。五十七



幼生の採集

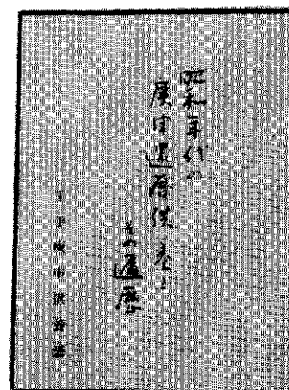
② 研究の計画

クロサンショウウオの特徴、産卵場所や卵のようす、ふ化と幼生の育ち方、子の生活のようすを調べることにしました。

積雪の比較

午前9時現在 (単位: cm)

月 日	58 年		57 年		56 年	
	分 遣 所	川西ダム	分 遣 所	川西ダム	分 遣 所	川西ダム
2・5	95	125	110	158	370	377
2・10	130	170	155	190	380	415
2・15	189	230	155	196	320	353
2・20	147	186	115	150	315	336
2・25	145	192	96	126	340	355
2・28	168	220	105	140	380	415



の庚申還暦供養とその遍歴」という本を発売しています。手持ちが少しありますので、希望の方に一冊千円でお分けすることです。申し込みは、上町の真明正人さんにてお願いします。

おめでとう江口君

デザイン「クジラ雲」が

教科書掲載候補作品になる

第15回中魚沼郡・十日町市児童生徒版画デザイン展（郡市教育振興会主催）の審査が2月8日に十日町小学校で行われました。

審査は、兵庫教育大学の西光寺亨教授が当たられました。

デザインの部に出品した江口茂義君（白倉小学校1年）の「クジラ雲」が数多くの作品の中から選ばれ、教科書掲載候補作品に指定されています。

指定の理由

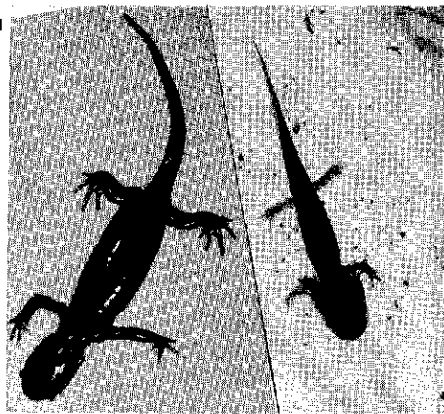
発想の豊かさ、生き生きとした表現、色彩の美しさ、構成の良さを評価。広く小学校デザイン指導の参考に供することができると認める。

展覧会は、十日町小学校で雪まつりの日の2月12、13日に行われましたので、ご覧になられた方も多いと思います。



江口君と作品の「クジラ雲」

青空の中をクジラ雲が子供たちを乗せてゆうゆう泳いでいます。



中型の親と幼生

(1)クロサンショウウオの親 親は日中明るいところをさけ、土の中や岩の下にもぐって暮らしているようです。ひふは、さわるとうわらかく、ぬるぬるしています。体の色は、黒みがかった青紫色をしています。春や秋には黄土色に変わるものがあります。大きいのは体長十二・五センチもあります。

(2)産卵場所と卵のう 産卵は、山を背にした田や池のたまり水のところ、雪消え直後から四月中旬ごろまでに行われます。卵のうは、アケビの形で白く、二個一組でまん中をカヤや稲株にくっつけてあり、水面に浮かんでいます。一つの卵のうの中にある卵の粒の数は二十個から四十個くらいです。

(3)幼生の育ち方 ガラスの水槽の中で飼育し、調べました。エラの観察は顕微鏡を使いました。幼生のエサ集めに苦労しましたが、首を上げてエサを待つ幼生がいてかわいらしく思いました。

五月五日に最初のふ化がありました。体長は十三・五ミリです。ふ化してから五日目くらいで共食いを始め、二、三日に大きくなり始めました。二十日目くらいで肺呼吸が始まり、共食いがなくなりまし

た。五十日から六十日目くらいでエラ、尾ヒレがなくなり、上陸を始める大きくなりました。（体長約四十五ミリ）

エサは、ミミズ、ユスリカなどの生きたもののほか、タニシの肉です。幼生は目の前を動くものにとびついて、丸のみにする性質があります。

心臓は、ふ化後二十日目のもので三十秒に三十一回から三十五回ほど動していました。

(4)子の生活 子は岩や落葉の下にもぐり込み、じっとしています。変態し上陸した子は、一週間ほど何も食べませんが、やがてミミズやユスリカなどの動くものを食べはじめます。

(5)卵のうのそばにイモリがいるわけ イモリは、クロサンショウウオと同じところで、一か月遅れで産卵します。

審査員のことば

新潟県では、サンショウウオのことがイモリとまちがって多い。どふだん見慣れているはずのことでも、注意してみると新しい事実を発見できるのです。観察したことをはっきり分けて

(4)まとめ クロサンショウウオは、春、冷たい水の中で産卵を終えると、すぐ水から離れ姿を消してしまします。人目をさけ、ひっそりと生活をしていますが、幼生のエラ呼吸から肺呼吸へ変わるようすや子の動作は、調べていて楽しく、さらに観察を続け、クロサンショウウオのことを詳しく知りたいと思います。

転居届は郵便局にも

転居されるときは、郵便局にも転居届を出してください。郵便局へ転居届を出されますと、旧住所と新住所のそれぞれの配達を受け持つ郵便局で配達名簿を修正し、向こう一年間、旧住所あての郵便物を新住所へ転送します。

転居届の用紙は、郵便局にあります。また、普通のはがきを使用したいだけでもけっこうです。

届出内容は、新住所・旧住所・転居者の氏名・世帯の全部か一部かの区別および転送開始希望年月日などです。

ただし、郵便物の転送には時間がかかるほか、書留郵便物や小包郵便物には転送料が必要になりますので、友人や知人の方などへは、お早めに新しい住所をお知らせください。

声の広報かわにし

貸し出します

社会福祉協議会では、声の朗読奉仕ボランティアのご協力で、毎月「広報かわにし」をテープに編集・録音して、目の不自由な方、お年寄りの方を対象に貸し出しを行っています。

希望者は、役場内社会福祉協議会事務局へ申し出ください。（☎八三二一一 有線二・四二）

お知らせ

農業用軽油

免税証を交付します

農業用軽油の免税証交付を次のとおり行います。該当される方は忘れずに交付を受けてください。

- ◎交付日時 3月25日(金)
午前10時～午後3時
- ◎交付場所 川西町役場
- ◎必要書類
 - ①印鑑(共同申請の場合は全員のものが必要)
 - ②免税軽油使用者証(継続申請の場合)
 - ③耕作面積証明書(農業委員会で証明を受ける)
 - ④使用機械の証明書(所有証明、借用証明)または納品書などの写し(カタログを持参)
- ◎その他 申請用紙は十日町財務事務所にあります。不明の点は十日町財務事務所(☎02575-7-5511内線205)へ問い合わせください。

スパイクタイヤの早期交換を

県からのお願い

新潟県などの積雪寒冷地帯でのスパイクタイヤの使用は、雪道や凍結道路での安全走行性の面から普及しています。これに伴って、スパイクタイヤが原因と思われる舗装道路の破損(特にわだち掘れの形で摩耗)や、センターラインなどの路面表示の摩損が生じ、その舗装修理費が急激に増えています。また、この摩耗粉じんによる公衆衛生上の新たな公害問題としてもクローズアップされてきました。県ではこの対応措置として、ス

パイクタイヤの使用制限について検討を進めています。今冬は、県の公用車に限って試験的にスパイクタイヤの使用禁止を行いました。スパイクタイヤ使用の方は、このような事情を十分おくみ取りいただき、春光のスパイクタイヤ装着の必要がなくなる時期には、ただちに夏タイヤに交換してください。よう、ご協力をお願いします。

ツベルクリン反応検査と判定

ツベルクリン

ツベルクリン反応検査と判定を次の日程で行います。

◎対象者

- 五十七年一月一日から十二月三十一日までの間に生まれた人
- 今までに受けなかった四歳までの人
- 陰性でBCGを受けなかった人

◎ツベルクリン反応検査

期 日	時 間	会 場
4月11日	午後1:30～2:00	克雪センター
12日	" "	母子センター
18日	" "	総合センター
19日	" "	橋出張所
19日	午後2:40～3:00	白倉小学校

◎ツベルクリン反応判定・BCG

期 日	時 間	会 場
4月13日	午後1:30～2:00	克雪センター
14日	" "	母子センター
20日	" "	総合センター
21日	" "	橋出張所
21日	午後2:40～3:00	白倉小学校

わしの自慢

手まり作り

十五年のキャリア

坪山

高橋キャウさん

高橋さんは、この二月に満八十八歳になられた。

こたつにあたっていても、手先を動かさないでいることはめったにない。茶前から寝しままで手まり作りや編物をされておいでのこと。

左目の具合が悪く、四年前に白内障の手術をした右目が頼りである。

手先が器用のほか、のみこみがたいへん早く、たいていのものは一回で覚えてしまう。

十五年ほど前に、村の婦人会から頼まれ、手まり作りの講習をやられたそう。

「人が作ったのは見たことがあるが、自分では一回もやったことがなかったもの。」

なんと、これが手まり作りのきっかけという。

米寿の祝いときには、手ま

りを村の念仏講の人やご詠歌の人たち全員に配られている。

「このときには、一冬に三、四十個作ってた。」

手まりの中身はもみぬかである。これをストッキングの中に入れる。

「どんなでっかさにもしられるの。」

丸く形を整え、白い糸で下からがきをする。この後の模様のもとになる割り出しが難しい。

配色も巧みで、十六色ものリヤンを使っているものもある。

「十三歳から機の仕事をしていたので、ほんとうは機織りがしたいんだが。」

蚕を飼い、その糸でもって機を織っていたと当時を懐かしむ。

「体がマメだから、これから手まり作りや編物などを続けていくて。」

心から糸が好きなのである。



町行造林作業班員 募集中です

町内の山林地帯で、伐採・植林などの作業に従事して下さる人を次により募集しています。

①募集人員60人（男子55人・女子5人）

②採用条件

(1)健康な人（川西町の住民）

(2)男子はチェーンソー・刈払機の操作ができる人

(3)年齢は4月1日現在で男子70歳未満、女子55歳未満の人

(4)募集人員を超えた場合は、技術・資格・年齢等を考慮し選考します。

③賃金 原則として川西町農業標準賃金を基本日額とし、ほかに技術・運転手等の諸手当を加算します。

④期間 58年4月18日～11月19日

⑤就業時間 午前8時～午後5時10分

⑥申し込み 健康診断書1通、自動車運転免許所有者は免許証、それに印鑑を持参して産業課林業係へ申し込みください。

⑦締め切り 3月25日

⑧その他 短期雇用保険、労働災害制度の適用があります。

◎採用については、選考のうえ4月9日までに各人に通知します。



次の善意が
寄せられました

●社会福祉協議会へ

※小林浩康さん（神社町）から三万円

※高橋茂さん（神社町）から三万円

※藤巻博さん（塩辛）から三万円

※平野鶴吉さん（四郎兼）から三万円

※半田孝夫さん（室島）から三万円
※匿名で三万円

新しい嘱託員

③（敬称略）

【仙田地区】

○中仙田・南雲教、○室島・高野新次、○小脇・佐藤栄一、○高倉・高橋幸雄、○藤沢・茂野政栄、○田戸・高橋三治、○越ヶ沢・川崎一男、○赤谷・高橋正春、○岩瀬・登坂博男、○大倉・中条石平

心配ごと相談

ゆうあい号来町

- 3月16日……克雪センター
- 3月23日……総合センター
- 3月30日……総合センター
- 4月6日……上野連絡所
- 4月6日 克雪センター
午後1時～3時

町内さんぽ

二月二十日は
各地でスキー大会

二月二十日には、各地でスキー大会が行われていました。



▲羽黒山

町民スキー大会、回転の模様です。

▼かんのうスキー場

仙田小学校のスキー大会には父兄も飛び入り参加しました。



▲赤坂では……

野口の赤坂では、橘小学校のスキー大会が行われました。写真は五年生の距離競技。



母子センター案内

3月16日 妊婦相談
27日 安産教室
4月4日 3歳児検診（55年3月～6月生）
6日 妊婦相談・産後検診
11日 乳児検診（57年3、10、12月生）
いずれも午後1時から

停電のお知らせ

●4月6日（水）/ 正午から午後4時まで、元町。

早朝尿

セルフ・ヘルスチェック No. 2
(健康自己点検)

朝目が覚めての初仕事は、睡眠中にためた尿の排せつから始まります。

人間の体を工場に例えれば、尿は工場排水であり、その工場排水を調べてみれば、工場内のさまざまな様子がかめるように、健康状態を点検するうえで

非常に貴重な情報を数多く提供してくれます。

尿の回数や量は個々によって違いがありますが、健康な成人では一日四、五回の排尿で、量は一、〇〇〇ccから一、五〇〇ccくらいです。老人は回数が増えます。また夏季は発汗があるので尿量は減少します。

じん臓の働きが衰えると尿の回数が多くなります。年を取って夜間の排尿回数が多くなったら、じん臓機能が低下してきたことの現れですから、じん臓の

負担をできるだけ軽くするように塩分の摂取量を減らすことがたいせつです。また異常に排尿の回数が増したり、残尿感があるようだったら注意しましょう。

尿の色は、普通澄んだ淡黄色ですが、疲れていたり発熱や発汗のあるときは、濃縮されて色が濃くなります。服薬によって血尿や混濁尿は何か病気が潜んでいるかも知れません。自己判断せずに進んで検査を受けましょう。

健康な人にとって、尿の排せつは生理的現象だと、ごくあたりまえのことのように考えがちですが、病や障害のため人手を借りなければ排尿できない人もいます。健康であるという喜びをかみしめたいものです。暴飲暴食は避け、適度に運動や休養をして、規則正しい生活を心がけましょう。



戸籍の窓から

たかさこ——円満に

◎新邸 茂野 晶人 学校町

◎新邸 平賀登美子 塩沢町から

◎新邸 江口 博幸 小白倉

◎新邸 岩戸 律子 鹿児島県から

うぶ声——おすこやかに

星野 明香 秀夫 長女 野口

高橋 恵 達男 長女 赤谷

桑原 瞳 秋男 長女 栄町

羽鳥 孝洋 育男 二男 木落

山田 瑛理 常夫 長女 仁田



かわにし 俳壇

太田白南風選

霜条 星名 星光

○牡丹雪なれば心のほのぼのと

ぐつぐつと靴の鳴りゆく牡丹雪

粉雪はさらさらと降り軽やかな

湯の旅の膳につきたる寒卵

三領 水品 律

木菟の鳴きをり明日は晴るるらし

涅槃会や袖の珠数の袋提げ

いささかの田芹を摘みて戻りけり

だらだらと雪降りやまず春浅し

昇天——こめい福を祈る

半田 實 室島 五七

清水茂一郎 寺尾 五八

相崎 寅松 沖立 六五

藤巻 清助 寺ヶ崎 七六

高橋 トイ 神社町 七八

田中リヤウ 小白倉 八二

野澤 フジ 野口 八二

小林 熊治 神社町 八三

大久保イワ 野口 八四

赤谷 登坂 紅葉

ストーブの音のしづかに雪の降る

父の忌の僅かながらの芹のつゆ

中天に雲一つなき寒の月

股火鉢している雪の節季市

野口 寅生

除雪夫の雪やけ顔に日脚伸ぶ

氏神へ雪道つづく春祭

この冬のしのぎ易きに二月盡

赤谷 高橋チヨノ

初午や燈明ゆらぐ雪の上

献立の一品みつば摘みて来し

老婆のもてなしの膳芹のつゆ

岩瀬 小川 益栄

雪やまず除雪車の音またやまず

訪う人もなくて深雪の一日暮る

交通事故が激増

三月三日に二件の交通事故が起こり、今年に入ってから事故の累計は六件となりました(昨年同期はゼロ)。態様別では、追い越し二件、追突三件、出会い頭一件です。十分ご注意ください。

2月の交通事故発生件数

件	数	死者	負傷	死亡	酒気	酒気
3	3	0	0	0	0	0
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

() 内は前年比較

この土地の雪の運命を否とせず

赤谷 小川 秀

初午や雪に傾き小豆飯

芹摘に指先染まり香りけり

片栗の咲く頃あの娘嫁ぎゆく

三領 高橋たかし

困い板はずし明るき老の会

春めくや朝の障子に鳥動き

三月の桜前線始動とか

元町 上村 トミ

いくたびも深雪の道を教えけり

まなざしの澄みたる顔の雛ならぶ

買うて来しほとけの花の猫柳

中仙田 左木人

錦山映えうつりたる水速し